

静岡県における道路脱炭素化の取組

資料 2

道路局 道路企画課



目 次

1 背景	P 3
2 温室効果ガス排出の現状	P 6
3 道路脱炭素化の取組	P 8

1. 背景

1. 背景

気候変動に伴う災害の激甚化・頻発化

- 地球温暖化に伴う気候変動の影響により、自然災害が激甚化・頻発化しており、気候変動対策の推進は、地球規模での対応が喫緊の課題
- 2025年2月に閣議決定された国の地球温暖化対策計画では、「温室効果ガスを2040年度に73%削減（2013年度比）することを目指す」としている。
- 道路は、地域の経済成長を支え、安全・安心な暮らしを確保する重要な社会基盤である一方、道路分野のCO₂排出量は、国内のCO₂排出量の約18%を占めていることから、道路における脱炭素化の取組強化が必要



1. 背景

2025年4月の道路法改正

- 国は、2025年4月に道路法を改正し、道路の脱炭素化を推進
- 県などの道路管理者は、国の「道路脱炭素化基本方針」を踏まえ、「道路脱炭素化推進計画」を策定

(道路脱炭素化基本方針)

第四十八条の六十六

国土交通大臣は、道路の脱炭素化の推進に関する基本的な方針（以下「道路脱炭素化基本方針」という。）を定めるものとする。

- 2 道路脱炭素化基本方針においては、次に掲げる事項を定めるものとする。
 - 一 道路の脱炭素化の推進の意義及び目標に関する事項
 - 二 道路の脱炭素化の推進のために政府が実施すべき施策に関する基本的な方針
 - 三 道路管理者による道路の脱炭素化の目標の設定に関する事項その他の次条第一項に規定する道路脱炭素化推進計画の策定に関する基本的な事項四前三号に掲げるもののほか、道路の脱炭素化の推進のために必要な事項
- 3～5 (略)

(道路脱炭素化推進計画)

第四十八条の六十七

道路管理者は、道路脱炭素化基本方針に即して、その管理する道路に係る道路の脱炭素化の推進に関する計画（以下この条において「道路脱炭素化推進計画」という。）を定めることができる。

- 2 道路脱炭素化推進計画においては、おおむね次に掲げる事項を定めるものとする。
 - 一 道路の脱炭素化の目標
 - 二 前号の目標を達成するために行う道路の脱炭素化の推進を図るための施策に関する事項
 - 三 前二号に掲げるもののほか、道路脱炭素化推進計画の実施に関し必要な事項
- 3、4 (略)

2. 温室効果ガス排出の現状

2. 温室効果ガス排出の現状

CO₂排出量

- 日本全国の総排出量（2022年度）は、約10.85億tCO₂/年
- このうち、道路分野は道路整備、道路利用、道路管理合計で総排出量の約18%（約1.8億tCO₂/年）
- 静岡県の総排出量（2022年度）は、約2,763万tCO₂/年であり、そのうち道路分野で約489万tCO₂/年を排出

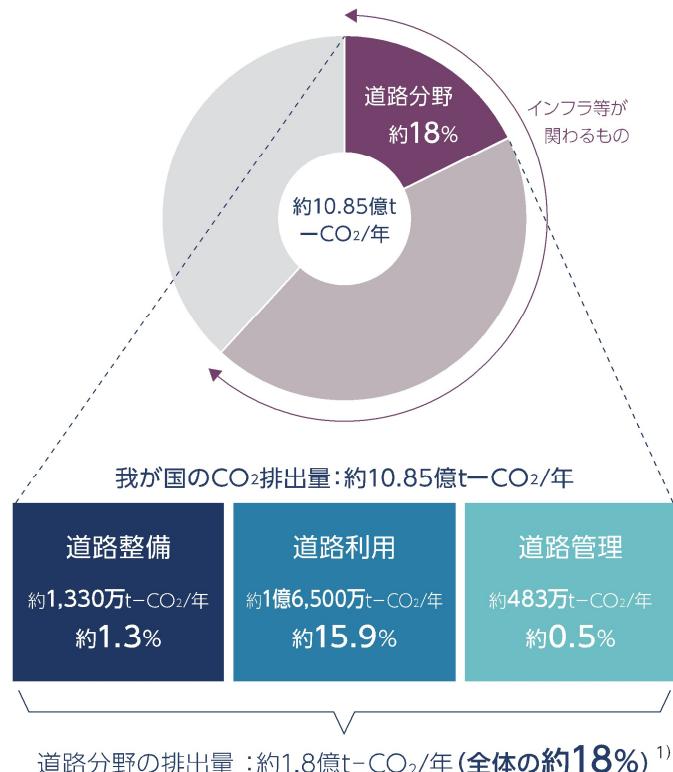


図1：日本全国の温室効果ガス排出量のうち道路分野における排出量（2022年度）
(出典：道路分野の脱炭素化政策集 Ver.1.0)

表1：日本全国、静岡県の温室効果ガス排出量（2022年度）

	日本全国	静岡県内
総排出量	108,500	2,763
道路分野排出量	18,313	489
道路整備 ・道路工事時の排出 ・A s合材製造時の排出 等	1,330	36
道路利用 ・乗用車、バス、二輪車の排出 ・貨物自動車の排出	16,500	439
道路管理 ・道路、トンネル照明の電力消費 ・道路関係車両の排出	483	14

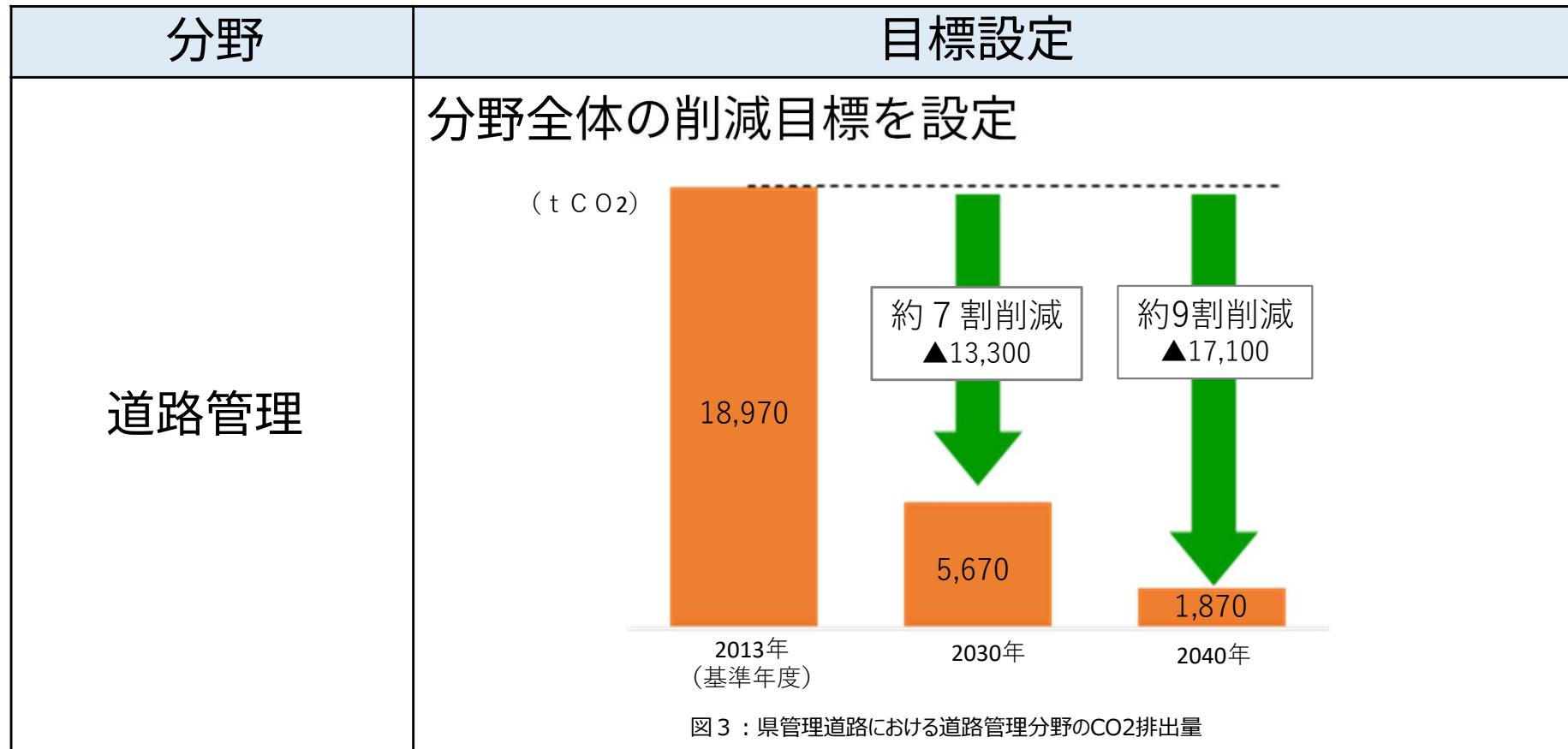
※道路分野の脱炭素化政策集、静岡県地球温暖対策実行計画を基に算出

3. 道路脱炭素化の取組

3. 道路脱炭素化の取組

- 対象路線：県管理道路（延長約2,787 km）

- 目標



※道路整備、道路利用分野については、渋滞対策、有料道路の利便性向上など、取組ごとに目標を設定

例) 渋滞対策を●●箇所実施

3. 道路脱炭素化の取組

取組の方向性

① 道路のライフサイクル全体の低炭素化

道路建設から管理までのライフサイクル全体におけるCO₂排出量について、新技術を積極的に取り入れながら削減を推進

② 道路交通のグリーン化を支える道路空間の創出

再生可能エネルギーの活用促進のため、太陽光発電を活用した電源供給などの取組を推進

③ 低炭素な移動手段への転換

自転車等の低炭素な移動手段への転換を促進

④ 道路交通の適正化

自動車からのCO₂排出削減につながるよう、交通容量が低下しているボトルネック箇所や、局所的な渋滞が発生している箇所における対策を行い、道路交通を適正化

3. 道路脱炭素化の取組

主な取組 ①道路のライフサイクル全体の低炭素化

1. 道路インフラの長寿命化



2. 道路照明のLED化



3. 低炭素As合材の導入



4. 道路関係車両の電動車化



3. 道路脱炭素化の取組

主な取組 ②道路交通のグリーン化を支える道路空間の創出

1. 道の駅へのEV急速充電器設置



2. 太陽光発電を活用した電源供給



※県内道の駅：21/26駅設置済（R8/1時点）

3. 道路脱炭素化の取組

主な取組 ③低炭素な移動手段への転換

1. 自転車通行空間の整備

自転車道



自転車通行帯



2. ほこみちの活用等による快適な歩行空間の整備



3. 道路脱炭素化の取組

主な取組 ④道路交通の適正化

1. 渋滞対策

事例 1) バイパス道路整備 (富士川かりがね橋)



事例 2) 交差点改良



2. 有料道路の利便性向上



3. 富士山マイカー規制



3. 道路脱炭素化の取組

取組の推進

「道路照明のLED化」、「道路関係車両の電動車化」など取組の指標を設定し、フォローアップを行いながら道路における脱炭素化を進める。

